

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果より

～我孫子第四小学校～

学力について

☆問題 A:主に「知識」に関する問題 問題 B:主に「活用」に関する問題

- 国語 A … 全国・県平均正答率と「同程度」の結果だった。
国語 B … 全国・県平均正答率を「上回る」結果だった。
算数 A … 全国・県平均正答率を「同程度」の結果だった。
算数 B … 全国・県平均正答率を「下回る」結果だった。

国語について

- 『読むこと』『書くこと』の観点は正答率が高い。
- 『話すこと・聞くこと』の観点は平均程度。
- △「漢字を書く・読む」に課題がある。

算数について

- △『数量関係』『図形』の観点は、正答率が平均より低い。
- △『数と計算』の観点も正答率が平均よりやや低い。
- △記述式の問題形式に課題がある。

自尊意識
生活習慣

☆児童に対する質問紙調査結果より

教科への関心について

- 国語への関心は全国・県平均より「やや高い」結果だった。
- △算数への関心は全国・県平均より「やや低い」結果だった。

生活習慣について

- 規範意識、基本的な生活習慣が出来ている。
- △朝食を毎日食べている児童の割合がやや低い。

読書習慣について

- 読書が好きな児童の割合が平均と同程度。

家庭学習の習慣について

- 土曜日や日曜日に1時間以上勉強をしている児童が多い。

その他について

- 自己肯定感がある。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことと認識している。

【調査結果からの今後の取り組みについて】

国語

- 説明文や感想文を書く際には、自分の考えの根拠を明確にして書くようにする。その際に、必要に応じて本文の引用を用いるようにする。
- 書く際は、目的や相手をきちんと意識させ、それらに応じた書き方をする。
- 習得した漢字を読んだり書いたりする機会を、意図的・計画的に設定することによって、児童が漢字を身近なものとして捉えることができるようにする。
- 読書タイムによる、読書習慣の定着に向け継続した取り組み成果が出てきている。今後も図書室の環境や本の充実を図り、読書に対する興味関心をさらに高める。
- ドリルタイムで漢字の繰り返し学習を継続して行い、定着を図る。

☆上記の他に、我孫子市の分析による国語科の日常的な取り組みも実施していきます。

算数

- ドリルタイムを計画的に活用し、知識の定着を図る。
- 課題のあった設問について、指導学年と学習指導要領の指導内容を把握し、今後の指導に役立てるとともに、補習の手立てを考える。
- 算数で学習した内容が生活や他教科など様々な場面で活用できるように、算数の良さが実感できるような工夫をする。
- 考えが誤りやすい場面を取り上げた際に、自分の考えをふり返るようにする。
- 計算方法や問題を解く考え方を言葉や文章で日常的に表現する。
- 形式的な処理に終わらせることなく、日常生活での経験や興味・関心と関連づけて、学習内容を取り扱うようにする。

☆上記の他に、我孫子市の分析による算数科の日常的な取り組みも実施していきます。

自尊意識・生活習慣

- 読書習慣の定着を基盤に、書くことに対しても苦手意識の払拭に取り組む。
- 高い規範意識を継続するために、今後も『四小児童の基礎・基本』を大切に指導する。
 - ・「ハイ」という返事
 - ・あいさつ
 - ・「ありがとう」「ごめんなさい」
 - ・くつ、かさをそろえる
- 「早寝・早起き・朝ご飯」の意識を高め、十分な睡眠、早めの就寝、朝ご飯を食べることを推奨し、健康で安全な生活が送れるよう、日常的に呼びかけていく。

☆**今後も本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。**